

鈴鹿ベイロータリークラブ

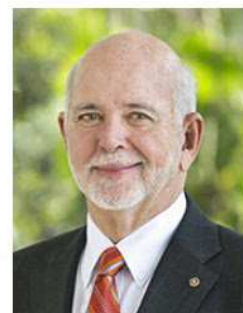
例会日 木曜日 18:30~19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



Rotary 

Be the
Inspiration

インスピレーションになろう



第1307回 例会報告 (2018年9月27日)

友愛の広場について

クラブ奉仕部門

■司会／ 中野 強 SAA ■ロータリーソング／ それでこそロータリー

■会長挨拶 ／ 平野泰治 会長

■幹事報告 ／ 宮崎弘夫 幹事

1. 10月5~7日までのF1「友愛の広場 in SUZUKA」には皆様のご協力をよろしくお願いいたします。この後、詳細について協議いたします。
2. タイ国 D3350 と共に行った「基本的教育と識字率向上」グローバル・グランツ の完成式典の日程が2019年2月8日(金)~10日(日)と決まりました。お一人でも多くの方のご参加をよろしくお願いいたします。
3. 10月の理事・役員会は10月11日(木)友愛の広場慰労会の前、午後6時30分から開催します。後日にご案内をFAXいたします。
4. 10月9日(火)に鈴鹿・亀山 Gr の会長幹事会が開催されます。「おじさん先生」と「ロータリーデー」について意見を求められていますので、本日の例会の部分でご意見をお聞きます。
5. 鈴鹿地区薬物乱用防止指導者協議会より第2回理事会及び連絡調整会議の開催について出欠の連絡をいただきましたが、当クラブからは欠席する旨 伝えました。

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
9月27日	12名	7名	5名	58.33%

2週間前の補正後出席率 12名中 7名 58.33%

■ニコボックス

平野泰治……まもなくF1、台風も吹きとばしましょう。

宮崎弘夫……まず、広島カープ優勝おめでとうで、1,000円そして本日友愛の広場の
お願いで2,000円よろしくお願いいたします。

遠藤龍夫……いつもお世話になります。本日もよろしくお願いいたします。

■例会 / クラブ奉仕部門・親睦活動担当 / 友愛の広場について

私たち鈴鹿ベイロータリークラブは、「F1 2018 日本グランプリレース」に於いて「友愛の広場 in Suzuka 2018」を開設し、日本各地より当レース観戦に訪れるロータリアンとそのご家族等を迎え入れます。ロータリーを通して、ひとりでも多くの方々を「SUZUKA」へお誘いし、モーターレースの聖地でロータリアンとご家族の親交を深め合うのが「友愛の広場 in SUZUKA」の目的です。会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

第1308回 例会報告（2018年10月5日、6日、7日）

友愛の広場 in SUZUKA

クラブ奉仕部門

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
10月5日、6日、7日	12名	9名	3名	75.00%

2週間前の補正後出席率 12名中 10名 83.33%

■ニコボックス

行橋R. C. 福島小太郎・・・・・・友愛の広場 10周年おめでとうございます。

ご友人富島雅朋・・・・友愛の広場 10周年おめでとうございます。

荻田R. C. 國永修一・・・・・・友愛の広場 10周年おめでとうございます。

平塚R. C. 鳥山優子・・・・・・毎年お世話になっております。ロータリーの友の記事も読んでます♥また来年もよろしく。

新所沢R. C. 江崎浩史・・・・・・今年も友愛の広場ありがとう！

亀山R. C. 村山竹則・・・・・・ごくろうさます。

■例会 / 友愛の広場 in SUZUKA / クラブ奉仕部門

私たち鈴鹿ベイロータリークラブは、全国及び地方のロータリー誌等を通して、広場への来場を広報活動した結果、多くのロータリアンとその家族方々にご来場いただきました。私たち会員一同はクラブ間及び会員相互の交流に大いに有益であったことに留まらず、更に鈴鹿ベイロータリークラブ、及び「SUZUKA」の名を日本全国に発信できたことを喜びたいと思います。会員皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

【会長 平野泰治】



第1309回 例会報告（2018年10月13日、14日）

地区大会

会長、幹事

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
10月13日、14日	12名	6名	6名	50.00%

2週間前の補正後出席率 12名中 7名 58.33%

第2630地区 2018～19年度 地区大会 木村静之ガバナー あいさつ

本年度国際ロータリー第2630地区の地区大会を開催するにあたり、バリー・ラシン国際ロータリー会長の代理としてRI研修リーダーで第2840地区パストガバナーの本田博己様ご夫妻をお迎えしました。地区を代表して厚くお礼申し上げます。

また、地区の内外から、ご多忙のところまた遠路はるばるご参加くださいましたガバナー、パストガバナー、そしてパートナーの皆様、とりわけ、韓国第3600地区からご参加くださいました皆様、そしてタイの第3330地区からご参加くださいました皆様、地区会員一同心から歓迎申し上げる次第でございます。

さて、地区大会は、ロータリーのあるべき姿を共に考え、様々な奉仕プログラムやプロジェクトを紹介して皆様に知っていただき、さらなる奉仕への意欲を喚起するとともに、会員相互の交流と親睦を深める場であります。

バリー・ラシン会長は、「インスピレーションになろう」というテーマで、「前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブから、地域社会から、そして組織全体から引き出したい」と述べておられます。この地区大会が、すべての会員の皆様にとってインスピレーションを見出す場となり、意欲を喚起する場となりますことを祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。



第1310回 例会報告（2018年10月18日）

友愛の広場 慰労懇親会

クラブ奉仕部門

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
10月18日	12名	9名	3名	75.0%

2週間前の補正後出席率 12名中9名 75.00%

■カレーライス

2510 地区 職業奉仕委員長
玉井清治（函館亀田）

数年間継続していた社会奉仕事業「子供達とのじゃがいも堀り」が当クラブの自慢の奉仕事業のひとつです。児童養護施設の子供達を誘い、クラブの会員家族とともに半日「じゃがいも堀り」を体験し、その場でじゃがいもを塩煮して函館産塩辛とバターと一緒に食べるといった事業です。この施設の子供達は親がいない子や、事情があつて親と一緒に暮らすことの出来ない子供達です。

この事業には私なりに複雑な思いがありました。親がいない子供達の目の前で私たちロータリアンが家族で笑いながら芋掘りをする姿を子供達はどのように感じているのだろうか？決して良い気分ではないはずです。それと、今の若い子供達は芋の塩煮より、断然カレーライスだろう！そう思っていました。社会奉仕委員長が「例年どおり変わらず奉仕事業を行う」と発表した際、会長である私は「だめだ！今年は奉仕事業に家族を呼ばないし、芋の塩煮ではなくカレーライスにする。」と言い出しました。すると、社会奉仕委員長のみならず五大奉仕委員長が真っ向から反対。それを会長権限だと押し切り、内容変更をすることにしました。日程が近くなり、児童養護施設へ挨拶に社会奉仕委員長と幹事と共に伺った際のことです。

「喜んでください！今年は芋の塩煮ではなくカレーライスですよ！それと、芋掘りには家族は参加させません。」そう施設長に伝えると、彼は困った顔をしました。「お願いします。例年どおりになりませんか？」私は一瞬信じられませんでした。「なぜですか？」の私の問いに彼は「会長さん。あなたは幸せな人生を歩んでこられたのでしょうか。カレーライスという料理はこの施設では毎週子供達に食べさせています。何故なら安価でルーフを伸ばしに伸ばしてお腹いっぱい食べさせることが出来るからです。子供達はカレーにはうんざりしています。」「この子供達は生きていく過程の中で必ず親子の羨ましさを感じることもあるでしょう。そのことを体感することもこの子供達には必要なのです。クラブのご家族は是非、一緒に参加してください」このように話されました。私は目の前が真っ白になり気持ちはドン底まで落ち込みました。なぜなら私の考えていた「奉仕」と受け入れる方々の思っている「奉仕」に大きい乖離があつたからです。

「相手の立場に立って」考えたことが、結果的に自分の思慮が足りなかったという反省点はロータリアンの奉仕活動ばかりでなく日常の中にもあります。それと、もうひとつの反省点はクラブ会長は執行機関のトップとしてはクラブの象徴たる地位にありますが、何ら実権はないということを私は知りませんでした。クラブ会長は何でもできると勘違いしてたことです。数日後、五大奉仕委員長や幹事・クラブのみんなが、この落ち込んでいる会長を心から励ましてくれました。

このことは会社経営でも同じことで、確信ある方向が実は現実には真逆なこともたくさんあり得るということ。それを教えてくれるのがロータリークラブであり、そこが自己研鑽の場であることは間違いありません。例会出席を通じて同僚ロータリアンに学ぶ姿勢をもって、その自己改善のエネルギーを無限に地域社会に放流しなければならないということは昔から言われています。今回の規定審議会の決定をうけて、「柔軟性」のもと例会の回数を少なくしたクラブもたくさんあります。悪いとは決して言いませんが、少なくする理由が知りたいです。例会の重要性を感じるなら例会数を少なくする理由は無いのではないかと私は思います。きっと、例会数を少なくしたクラブはお試し期間中であり、数年でまた元に戻ってくれるのを勝手ながら期待し、願っております。